

DAWN通信 第1号

ドーンつうしん

財団法人大阪府男女共同参画推進財団は

「男女が対等な立場で、あらゆる分野に参加・参画できる社会づくり」の視点から
多様な価値を受容し、一人ひとりが持てる力を最大限に発揮できる
真に豊かな社会の実現に貢献します

自立化へのチャレンジにご支援を

財団法人大阪府男女共同参画推進財団は、〈チャレンジ!〉をスローガンにした「第一次自立化プラン」をこの3月にまとめました。大阪府によって、平成22年度からの財団自立化が打ち出されたのに伴い、財団継続の意義と必要性を広く示し、21年度から当面4カ年の取組みをプランとして織り込んだものです。

自立化にあたっての基本的な考え方は次の通りです。

- 21世紀の最重要課題である男女共同参画社会の実現に向け、府民にとってかけがえのない新たな公益法人への変革をめざす。
- 収入の柱として「収益性が高い自主事業」「府の市場化テストなどへの積極参入」「寄附・賛助会員募集」を据える一方、組織のスリム化・諸経費削減による支出抑制で収支均衡を図り、行政依存体質から脱皮する。
- 全国屈指と評価される職員の専門性とネットワークを生かし、社会の変化と府民ニーズに応じた課題解決型を重点に事業を展開する。

平成6年4月の財団設立から16年目を迎えた今年は、自立化へのさまざまな課題に職員一丸となって挑まなければならない、まさにチャレンジの年です。そろって汗をかこう、と決意を新たにしております。

皆様のこれまでも増したご支援をお願い申し上げます。

財団法人大阪府男女共同参画推進財団 理事長 時岡 禎一郎

目次

自立化へのチャレンジにご支援を	1
2009 ドーンセンタープログラム	2
講座・イベントのご案内 (4月~6月)	3
ドーンセンター情報 4月から、 ドーンセンターがこう変わる	4
ピックアップ 主催事業報告	5
賛助会・寄附のご案内	6

※「第一次自立化プラン」の内容は財団ホームページ（URL：<http://www.ogef.jp/>）でご覧いただけます。

女性のエンパワメントと文化創造、そして社会変革へ

Empowerment Cultural Creative Social Innovation

① 研修・ネットワーク形成

行政職員、学校教員、企業関係者のためのセミナーを予定しています。

② 学習・キャリア開発

女性の就職・再就職、キャリア形成をサポートする講座の充実を図ります。

③ 女性のメンタルヘルス支援

悩みの解決とエンパワメント、社会参画へ。個別相談から支援者養成まで行ないます。

4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
	男女共同参画施策に関わる職員研修		DV被害者支援基礎セミナー			企業研修セミナー				学校教員ワークショップ	
	女性のためのパソコン講座			女性のための再就職支援プログラム							
			はなみずきキャリア塾								
				社会の「今」を切り取る講座							
						フェミニストカウンセリング専門講座 <理論コース><研究コース>					
						ドーン・シネマクラブ					
						女性芸術劇場					

④ 文化表現

女性に対する固定的なイメージの変革をめざし、女性の視点による映像・舞台表現を支援します。

⑤ 情報相談・コンサルティング

男女共同参画社会をめざすさまざまな活動をバックアップします。

- ◎講座企画のためのコンサルティング
- ◎講師・委員など人材情報提供 など

開催時期等は変更になる場合があります。
このほかにも、随時企画していきます。

⑧ 次世代育成

インターンシップ・プログラムの実施、人権学習フィールドワークの受入れ、新任教員研修などを予定しています。

⑦ 連携・共催

“シングルライフ”をテーマにシンポジウムを開催するほか、随時企画・実施します。

⑥ 調査研究・情報発信

事業評価委員会を運営し、事業をブラッシュアップしていきます。冊子・DVDなどさまざまな媒体で情報発信します。

⑨ 講師派遣・アウトリーチ

講師・委員として財団職員を派遣します。大阪経済大学・桃山学院大学などの講義も受託予定です。

⑩ ドーンセンター指定管理者として

NPO法人ZUTTOとともに、ホール・会議室の貸出・維持管理、グループ活動支援(ワークステーション・情報交換プラザ運営など)を行います。

第4回「はなみずき基金」事業

4/25(土)

はなみずきキャリア塾 ～オープニング企画～

女性のワーク・ライフの充実をめざす「はなみずきキャリア塾」がスタート。働く女性の実例を通し、生涯にわたってキャリアを創る力をつけることをめざし、また、関西で働く女性のネットワークの場を作ります。

5月の開塾を前に、オープニング企画を開催。

- 日時：2009年4月25日（土）
13:30～16:30
- 会場：ドーンセンター特別会議室（5F）
- 参加費：1,500円

次回以降は、5/23(土)、6/27(土)に予定

- 第1部 基調講演「ワーク・ライフ・バランスと女性のキャリア」
講師：川口章（同志社大学政策学部教授）
- 第2部 トーク「私のキャリアの創り方」
高津玉枝（株式会社トッピング代表取締役社長）
野上麻理（P&Gマックスファスター合同会社プレジデント）
コーディネーター：八木早希（毎日放送アナウンサー）
- 第3部 ドーンセンター情報ライブラリーツアー



第5回「はなみずき基金」事業

5/15(金)・16(土)

第31回 ドーン・シネマクラブ

上映作品「ブラジルから来たおじいちゃん」ほか

ただいま92歳 うんと前からグローバルに生き抜いてきた！
おじいちゃんがくれるのは、お説教兼アドバイス、
教科書にのっていない歴史のレッスン、そして希望と勇気だ。

- 日時：【上映】2009年5月15日（金）14:00／19:00
16日（土）15:30
- 【栗原奈名子 監督トーク】5月16日（土）13:00～

- 会場：ドーンセンター視聴覚スタジオ（5F）
- チケット：前売り1,000円 当日1,300円 *賛助会員は前売り料金



大阪府受託事業

5月～6月

平成21年度 男女共同参画施策に関わる 職員のための研修プログラム

男女共同参画施策にたずさわって間もない職員が、ジェンダーの視点を高め、その視点をもって事業を推進していく力量を形成するための研修講座です。

- 時期：2009年5月～6月
- 会場：ドーンセンター大会議室
- 対象：男女共同参画施策担当の行政職員、女性関連施設職員及び関係機関職員

*詳細は、別途チラシ・ホームページ等でお知らせします。

マイクロソフト社助成事業

6月

経済的に困難な状況にある 女性のためのパソコン講座

今やパソコンは職場の筆記用具。求人の際にはパソコンスキルが必須条件であることが少なくありません。

経済的に困難な状況にある女性の就労応援を目的にパソコン講座を開催します。

- 時期：2009年6月
- 会場：大阪市立総合生涯学習センター
- 対象：就労をめざす女性 30名
- 共催：全国女性会館協議会

*詳細は、別途チラシ・ホームページ等でお知らせします。



共催シンポジウム

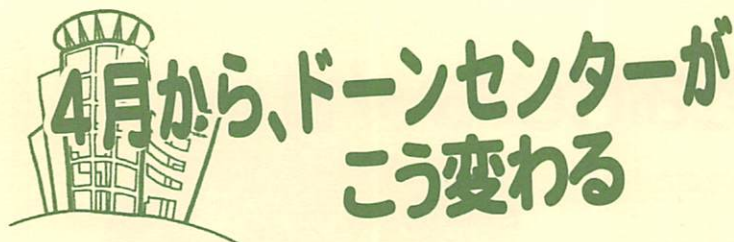
6/13(土)

シングルライフを楽しく、豊かに！ ひとりで生きる みんなで生きる

市民権を得た「ひとり」暮らし。第1部ではシニアを取り巻く環境の時代的社会的背景を知るとともに、近居ライフを実現させたメンバー7人による「共住」から「近居」を選ぶまでの道程を報告。第2部は、資金計画・老いに備える健康法・仲間づくり・もたれ合わない関係術など体験にもとづきお話しします。

- 日 時：2009年6月13日（土）13：30～16：30
- 会 場：ドーンセンター特別会議室（5F）
- 参加費：1,000円
- コーディネーター：川名紀美（朝日新聞論説委員）
- 主 催：個個セブン、(財)大阪府男女共同参画推進財団

講座・イベントに関する申込み・お問い合わせ先
企画推進グループ
Tel.06-6910-8615



昨年2月の新知事就任から1年余り。大阪府の財政再建プログラム案により、ドーンセンターのあり方や事業が大きく見直されました。

●名称が「大阪府立女性総合センター」から「大阪府立男女共同参画・青少年センター」に変更になります

青少年会館の廃止にともない、その機能の一部がドーンセンターに集約されます。これまでドーンセンターの目的利用は「男女共同参画社会の実現に向けた研究・啓発活動」「女性のネットワークづくりの交流会等」と定められていましたが、そこに「30歳未満の者による青少年活動」「青少年健全育成に資する活動」が加わります。

●一時保育事業の継続に向けて

平成20年度は、指定管理者である「ドーン利用促進事業共同体」が自主運営を行なってきましたが、事業運営の継続が困難になり、4月以降については休止することとなりました。

しかし、ドーンセンターにおけるこの事業の重要性を考慮し、NPOと協働しながら、保育事業の5月再開に向けて検討を重ねています。

●サポート・カウンセリングルームの
相談時間が平日夜間、土日にシフト

平日昼間は市町村でも女性相談はされていることから、主に市町村が実施していない平日夜間と土日に実施することとなりました。

【面接相談】火～金 17：00～21：00
土・日 10：00～18：00
【電話相談】火～金 17：00～20：00
土・日 10：00～16：00

●各種プログラムの行方は・・・

能力開発事業・カウンセリング関連講座・文化表現事業・NPO支援事業などについては、寄付金・助成金などを獲得しながら魅力あるプログラムを開催していこうと奮闘中です！

ミニコミ紙・ニュースレターの寄贈

ありがとうございます！

情報ライブラリーの資料購入が専門図書に限られます。そこで、団体・グループのみなさまにミニコミ紙・ニュースレターの寄贈をお願いしましたところ、多くの団体に快くご協力いただきました。ありがとうございました。今後ともよろしくお願いたします。

防災・復興に 男女共同参画の視点を

講師：相川康子（神戸大学経済経営研究所准教授）

過去のさまざまな災害発生時の経験から、被災時には家庭責任が増大し、それが女性に集中する傾向にあることなどの問題が明らかになっています。これに対応するには、男女のニーズの違いに配慮し、男女共同参画の視点を取り入れた防災・災害復興対策を確立する必要があります。

講師の相川康子さんは、阪神・淡路大震災当時は神戸新聞の記者として、市民救援活動や女性問題などを中心に取材をし、その後も論説委員として、防災・減災や復興まちづくりなどに関する社説を書かれました。

この講座では、主に市町村で防災政策を担当する方や男女共同参画施策担当者、地域で防災に取り組む人が、減災や復興にどのように女性の参画を果たしていくかを具体的に考えていただきました。参加者からは「受講前までは防災と男女共同参画が何の関係があるのか全くわからなかったが、理解できました」「減災という言葉の意味とともに、女性の参画があらためて必要だと感じました」などの感想が寄せられました。

実際にそれぞれの現場での施策や取り組みに活かしていただけることを願っています。（2009年2月4日実施）

大阪府受託事業



第3回「はなみずき基金」事業

第30回 ドーン・シネマクラブ 「西の魔女が死んだ」



はなみずき基金
HANAMIZUKI FUND

梨木香歩さん原作の「西の魔女が死んだ」（監督：長崎俊一）を4回上映し、合計244名の方々に鑑賞いただきました。上映後のアンケートでは「おばあちゃんの深い愛情に涙した」「感動した」などの感想とともに「今後も良質な映画の上映を期待しています」との声も多数ありました。（2009年3月6日・7日上映）

ドーン・シネマクラブでは、女性監督や女性の視点に立つ映像作品を定期的に上映しています。ぜひご参加ください。



©2008 「西の魔女が死んだ」製作委員会

大阪府受託事業

テレワークがもたらす新しいワーク・ライフ・バランス ～女性が働きやすい社会を目指して～

講師：田澤由利（株式会社ワイズスタッフ代表取締役）

柔軟な働き方の1つとして、テレワーク（離れた場所で仕事をする）があります。

講師・田澤さんの事務所は北海道と奈良。ネットワーク上でバーチャルな“オフィス”をもち、日本・海外に在住するテレワーカーが、プロジェクトごとにチームを組み、ITを活用して業務を行います。この新しい型は通常の会社と同様に高度で大量な業務が可能です。

また、ネットで働くからこそ「会う」ことにこだわる…などのマネジメントのポイントも提示。IT先進国・アメリカのテレワーク事情と比較すると、日本の働き方に適したテレワーク導入が大切で、企業以外にも、NPO・団体等がテレワークを導入すると事業の可能性が広がります。

実例をあげての講義は、参加者の方々の満足度が高いものとなりました。（2009年3月12日実施）

2008 フェミニストカウンセリング専門講座 理論コース & 研究コース

賛助会費充当事業

女性の自立とエンパワメントのための心理的援助を行なうことに必要な知識と技術の提供を目的とした専門講座。今回、DV・性暴力など暴力被害者への支援に重点を置き、現場の第一線で活躍する講師による全8回の理論コースとスーパーバイザーのもとケース検討を行なう研究コースを実施。女性相談に携わる方々を始め、学校・医療関係者など計92名の方に受講いただきました。

（理論：2009年1月17日～2月28日、研究：2月21日～3月21日実施）



★参加者の声から

「各セッションの内容が充実していて、学びがいがありました」「講師の方々の専門性高いお話が聞けた」「フェミニストカウンセラーの役割の大きさを感じました」「DV・性暴力・性虐待が根絶されることを強く願い、自分もジェンダーの視点を一層確かに持ちつづけたい」

お便り

2008年の夏、インターンシップ生としてドーンセンターの仕事を体験。そこでこの専門講座を知り、運営を手伝いながら受講しました。今後、講座で学んだジェンダーやエンパワメントの視点を活かして、性暴力を受けた方のサポートや性暴力を防止する取り組みをしていきたいと考えています。

大阪府立大学大学院 伊藤良子

上記のほかにも、女性と仕事セミナー、学校教員のためのワークショップなどを開催しました。

2009年度 賛助会員募集!

財団の活動主旨に賛同し、共に歩んでいただける方の入会をお待ちしております。会員になるとニュースレターが届くほか、主催講座・イベントの一部に賛助会員価格でご参加いただけます。

【年会費】(4月から翌年3月までの年度制となります)

- ・個人 一口 3千円
- ・団体 企業等 一口 1万円
- 非営利団体 一口 5千円

【振込先】郵便振替口座 00900-9-155214
 口座名 財団法人大阪府男女共同参画推進財団
 ☆通信欄に『賛助会員 年会費(口数)』と、お名前、ご住所、電話番号、メールアドレスをご記入ください。

【問い合わせ先】総務グループ TEL : 06-6910-8625

入会ありがとうございました 2008年度 賛助会員のみなさま

■個人

荒木美子/石井美男/角本典子/田代眞朱子/
 椿本玲子/波田埜雅子/本多真紀子/萬田久美子
 他33名(敬称略・50音順)
 *ご了承いただいた方のみ掲載しています

■団体

特定非営利活動法人 南大阪サポートネット
 高齢社会をよくする女性の会・大阪
 NPO法人 暴力防止情報スペース・APIS
 働く女性の人権センター いこる
 I女性会議大阪

■企業

株式会社 タツミ 来年度も、
 よろしく願いたします。

寄附を受付けています

現在受付けているのは用途を財団にご一任いただくもので、事業の運営に有効活用させていただきます。ご寄附は賛助会費とはちがい期限などがありません。どなたでも500円から受付けています。【問い合わせ先】総務グループ TEL : 06-6910-8625

事業運営に参画ください

今後も開かれた事業運営システムを
 企画・構築していきますので、
 資金・知恵・労力・ネットワークなど、
 お力をお貸しください。

「はなみずき基金」を創設しました

「すべての女性が主体的に自分の人生を選択し、納得の人生を実現できる社会をつくるための志(支)援金としてご活用いただきたい」との趣旨で、府内在住の女性から贈与された寄附金を基に設置した基金です。

「はなみずき」の花言葉は「私の想いを受けてください」。ご寄附いただいた女性の好きな花「はなみずき」を基金の名称にし、「はなみずき」をイメージしたロゴマークを制作しました。



はなみずき基金
HANAMIZUKI FUND

「はなみずき基金」は主に、文化表現事業、働く女性のための事業、さらに女性であることに起因する生きづらさの解決をめざしてがんばっている女性たちのために活用させていただきます。

財団ホームページを新設しました!

<http://www.ogef.jp/>

財団の最新情報を随時お伝えしていきます。



お便り募集! 「DAWN通信」へのご意見・ご感想などお寄せください。 info@ogef.jp

編集・発行 財団法人大阪府男女共同参画推進財団 ニュースレター編集部
 〒540-0008 大阪市中央区大手前1-3-49 ドーンセンター3F
 TEL : 06-6910-8615 FAX : 06-6910-8624 E-mail : info@ogef.jp
<http://www.ogef.jp/>

発行日 : 平成21(2009)年3月31日